

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要じょう乱の概要&gt;

- 台風第24号と第25号については最新の台風予報を参照。
- 17日は、低気圧が発達しながら日本海からオホーツク海へ進む。前線が日本付近を通過する。
- 18日は、北日本を中心とした西高東低の気圧配置となる。
- 19日は、大陸の高気圧が日本海に移動する。
- 20日から21日にかけて、高気圧が本州付近を通過して日本のはるか東に移動し、気圧の谷が日本付近を進む。

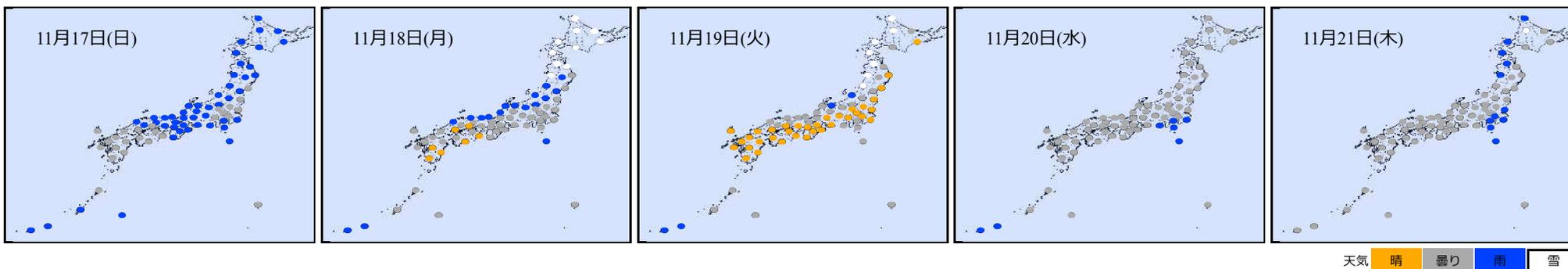
## &lt;防災事項&gt; 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 台風第25号の進路等によっては、沖縄地方は17日にかけて警報級の大雨や大しけのおそれがある。
- 17日から18日頃にかけて、発達する低気圧や強い寒気の影響で、北日本を中心に荒れた天気となり、低気圧の発達の程度や寒気の強さ等によっては大荒れの天気となるおそれがある。
- 令和6年能登半島地震で揺れの大きかった地方は地盤の緩んでいる所があり、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

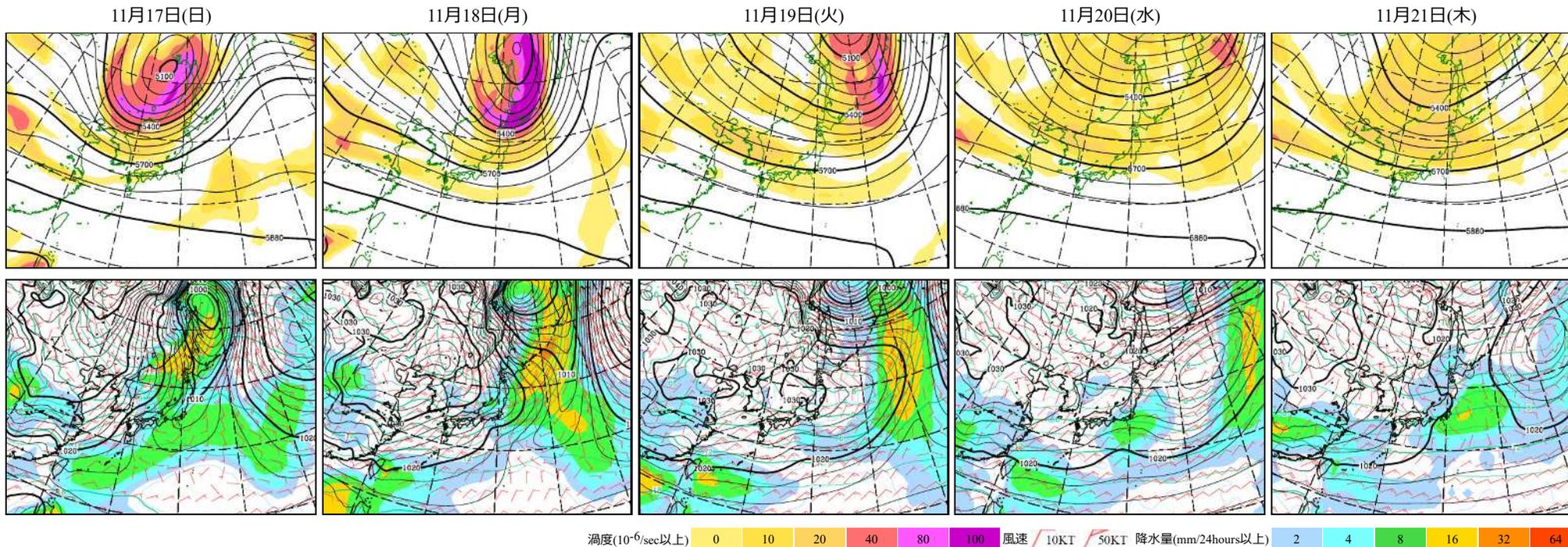
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

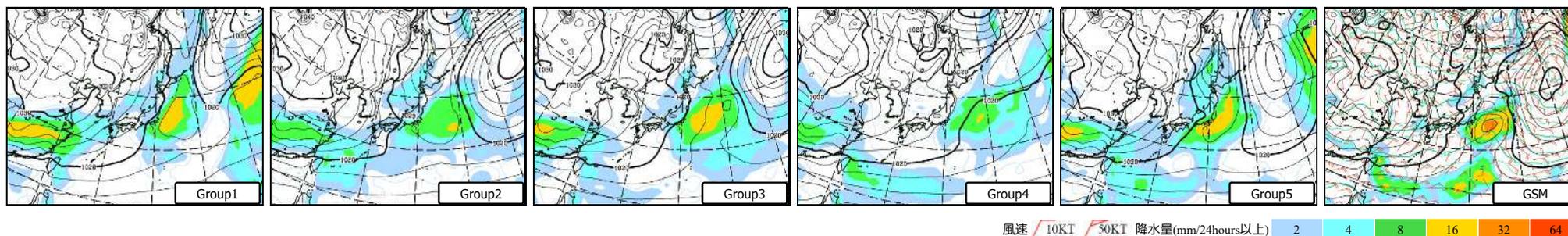


- 北日本と東日本日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多い。
- 東日本太平洋側と西日本は、晴れる日もあるが雲が広がりやすく、雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすく、雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆11月21日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、18日に北日本に進むトラフがやや深くなった。21日は日本海西部にトラフが進む予想になった。地上の気圧配置の予想は、19日頃までは大きな初期値変わりはない。20日から21日に北日本を進む気圧の谷が明瞭になった。
- 19日頃までは、各モデルの予想は揃ってきている。20日以降は本州南岸を進む低気圧の予想等にばらつきが見られる。
- 21日の南岸の低気圧の位置について、ENSには各モデルに近い予想をするメンバーが含まれている。また、北日本に発達した低気圧が進む予想をするメンバーもある。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。